

地域

団体名

手ノ子区協議会

活動地

飯豊町大字手ノ子字八幡及び大字高峰字松兀

団体紹介

【経過】手ノ子区協議会は、地域課題の協議組織として発足。その後、「里づくり活動」に取り組む。【里づくり活動】①手ノ子地区計画推進②越後米沢街道宇津峠再現③スキー場周辺環境整備④ホテルの里づくり⑤桜の森づくり⑥地域家庭料理の発掘などを実施。【活動資金】会費47万5200円(1世帯3,300円)+助成金(町・県・民間)で総額225万円(R5現在)。【表彰・顕彰】H25知事賞(ホテルの里づくり)、H26環境大臣賞(ホテルの里づくり)、H27総務大臣賞(里づくり活動)、H28山形の宝登録(宇津峠再現)。H29知事賞(桜の森づくり)を受賞した。

活動内容

八幡山桜の森づくり

荒廃採草地を、サクラを主にした「花の森」を整備するほか、早春の花木、初夏・初秋の花木、紅葉、新・深緑(ブナ)などの森を整備して、雪解けから降雪まで楽しめる、「人の心を休め、回復する森」を目指している。

今年度で、着工から14年目。近年、後継担い手が確保し難くなってきている。これにどう対応するか、実に深刻な問題を背負っている。



今年も「森のホームステイ事業」を行った。やまがた森林と緑の推進機構に指導をお願いした。子どもたちの目の輝きが嬉しかった。【写真上】このほか、「森の学習会」も行った。



毎年蓄積しているブナの稚樹。【写真上】のように200本以上貯まった。2年後に「新・深緑の森」に植栽しようと思っている。一部に地下水水位の高いところがあるので土壌改良が必要。

**R5の事業** 昨年行った土壌改良は、巨額になったことから固形肥料の施肥に切り替えた。今年もニセアカシヤ駆除を行った。湿地のために植栽樹が欠損した所に稚樹を補植した。草刈も行った。

**イベント事業** 10/11、手ノ子小児童と森のホームステイ事業を行う。20名参加。11/1、桜(はな)の森で「森の学習会」を行う。今年も、森の公益的機能を高めるための取組を話し合った。18名参加。

活動を行っての感想

「荒れ果てた採草地を有効活用しよう。」と始めた「桜(はな)の森づくり」だが、思った以上に土質が悪いうえ、早春に残雪が滑る斜面や地下水が異常に高いところが広範にあり、植栽樹の生育が悪く、計画の見直しに迫られている。採草地化の際に地表面の凹凸を極力なくしたことが原因のようだ。山の自然らしさを失った「山地の怒り」のようにも思える。いずれにしても当初の計画の核心である「人の心を休め、回復する」森をつくることに努力していく。